

神奈川県警察 石川正一郎本部長(13期)

直立不動の灯台を持つ

インタビュー

本部長が就任おめでとうございます。

中学・高校時代を過ごされた神奈川県本部長になられたご感想を伺います。

「35年ぶりに横浜に住み、見違えるような発展に感激しています。この美しい郷土を守ることに、大きな責任と使命感を感じています」

そもそも、なぜ、警察官僚を目指されたのですか。

「中学時代から、自分の人生は一企業のためではなく、公のために使いたいという強い意識がありました。今思えば、企業人であっても、社会貢献のために働くことに変わりはないのですが、当時は、分かりませんでした。」

ただ、東大法学部を経て官僚になり、国家のために働くというのは、中学時代から心に決めていました。官庁を訪ねるなかで、当時の警察官の採用担当の方々が極めて魅力的であつたこと、治安は社会のすべての基盤であり、犯罪対策が今後さらに重要な課題になるという確信もあり、警察官への入庁を決めました。」

入庁後、印象に残っている仕事を挙げてくださいますか。

「とにかく、普通では考えられない修羅場続きです。『オウム真理教』事件では、

地下鉄サリン事件発生直後に取締り責任者となり、不眠不休で組織解明に当たりましたし、ロンドン在任時は、IRA(アイルランド共和軍)の無差別テロが続いた時期にも重なりました。栃木県警本部長の在任時には、足利事件が急展開し、最新のDNA型鑑定により、17年間服役された方が無実だったことが分かりました。その時も、栃木県警の素晴らしい仲間と危機に誠実に向き合い、対処しました。」

そして、警視庁公安部長として、17年間逃亡していた最後のオウム特別手配の3名を逮捕、起訴に持ち込めました。そうした仕事に非常に大きなやりがいを感じています」

大変なお仕事ばかりですね。そうした事態に対処するに当たり心がけていることはありますか。

「常に、自分の心を貫く原則、いわば直立不動の灯台を持ち、選択の岐路に差し掛かったとき、その原則が指し示す光の方向に決断することです。その原則とは、例えば、職務への誠意、人に対する愛情、与えられた使命を達成する情熱です。せむじ詰めれば、人間としての誠実さです」

日本の治安を守る最前線に立っておられる石川本部長。高校時代はどのような生徒でしたか。

「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ

在校生に伝えたいことはありますか。国家公務員を目指す者も多くあります。そうした後輩へのメッセージをお願いいたします。

「我々が社会で生きるといふことは、自分自身であるための戦いであり、努力で特定の任務のために、自分の生をかけることです。もし、自分の中に、何かを社会のためにささげたいという、大切な夢や志があるのであれば、国家公務員業はないと思います。国家公務員には若い時期から権限と責任が与えられ、毎日が大きな試練と勉強です。そして、それを通じてのみ得られる、ダイナミックな人間的成長があります。志ある人には、国家公務員をぜひ目指してほしいと願っています」

「我々が社会で生きるといふことは、自分自身であるための戦いであり、努力で特定の任務のために、自分の生をかけることです。もし、自分の中に、何かを社会のためにささげたいという、大切な夢や志があるのであれば、国家公務員業はないと思います。国家公務員には若い時期から権限と責任が与えられ、毎日が大きな試練と勉強です。そして、それを通じてのみ得られる、ダイナミックな人間的成長があります。志ある人には、国家公務員をぜひ目指してほしいと願っています」

「我々が社会で生きるといふことは、自分自身であるための戦いであり、努力で特定の任務のために、自分の生をかけることです。もし、自分の中に、何かを社会のためにささげたいという、大切な夢や志があるのであれば、国家公務員業はないと思います。国家公務員には若い時期から権限と責任が与えられ、毎日が大きな試練と勉強です。そして、それを通じてのみ得られる、ダイナミックな人間的成長があります。志ある人には、国家公務員をぜひ目指してほしいと願っています」

「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ



28期卒業の芹沢智一(28期)はサラリーマンになりました。現在は国連開発計画(UNDP)の職員として、スーダンというアフリカの国で国際協力分野に方向転換し、現在に至っています。また一部で紛争の続くダルフールという地域では、トの企画・実施に携わって、いかに治安を確保しつつ、

世界で活躍する卒業生(コラム)

「我々が社会で生きるといふことは、自分自身であるための戦いであり、努力で特定の任務のために、自分の生をかけることです。もし、自分の中に、何かを社会のためにささげたいという、大切な夢や志があるのであれば、国家公務員業はないと思います。国家公務員には若い時期から権限と責任が与えられ、毎日が大きな試練と勉強です。そして、それを通じてのみ得られる、ダイナミックな人間的成長があります。志ある人には、国家公務員をぜひ目指してほしいと願っています」

内戦再発防ぎ、和平築く

国連開発計画職員(スーダン・ハルツーム駐在)

芹沢 智一(28期)

開発プロジェクトを実施するかに頭を悩ませています。前任地アフリカでは、連日ファイールドに出向いて兵士から武器や弾薬を回収し、部隊長や政府高官と交渉することもありました。業務中に命の危険を感じたことはありませんが、自爆テロや爆発事件直後の現場を何度か目撃しました。事件に巻き込まれるのは紙一重の差だったのかもしれないかもしれません。

「聖光OBで横浜を拠点に活動・営業している人たちの交流の場が欲しい。」このように声を上げる形で聖光OB若手経営者・若手士業者の交流を目的として聖光元気会は誕生しました。その名前が示すとおり、「横浜に元気をー東京に元気をー日本に元気をー」の想いを胸に秘める熱いスピリットを持った男達の集まりです。



「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ

医師会同窓会設立

平成24年9月29日、第1回「聖光学院医師同窓会」が設立総会が新校舎内のポラトホールで開催された。本校出身の医師・医学部生約20名が一堂に会し、交流を深めた。会長に選任された神谷知

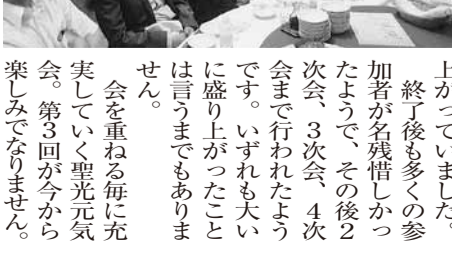


「現在も、多くの人のためになりたい」と医師を目指している在校生が多くいる。そうした生徒には、卒業生の先生方のご活躍は大変励みになる。同窓会の発足を契機に、在校生にも、より一層の声援を頂きたい」と述べた。総会終了後は、

聖光元気会結成

「聖光OBで横浜を拠点に活動・営業している人たちの交流の場が欲しい。」このように声を上げる形で聖光OB若手経営者・若手士業者の交流を目的として聖光元気会は誕生しました。その名前が示すとおり、「横浜に元気をー東京に元気をー日本に元気をー」の想いを胸に秘める熱いスピリットを持った男達の集まりです。

「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ



「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ

「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ

「素晴らしい仲間と切磋琢磨し、濃密な時間でした。周囲も品行方正な秀才ばかりではありましたが、すぐれた才能や強烈な個性との磨き合いがなければ、今の自分もないと思います。この6年間に、人生を決めたすべ